

県立美術館の現状と課題

機能	項目	現 状 (平成30年度実績)	課 題
基本活動	調査資料研究・収集・保管	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2,767点の美術資料を収蔵 <ul style="list-style-type: none"> 茨城県近代美術館(S63開館 4,082点) 埼玉県立近代美術館(S57開館 3,727点) 神奈川県立近代美術館(S26開館 14,000点) ・ 全国に誇れる浅井忠、水彩画、金工品コレクション <ul style="list-style-type: none"> ・ 浅井忠コレクション180点 ・ 水彩画コレクション226点 ・ 金工品コレクション356点 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収蔵対象としている現代芸術関連資料の収集が不十分 ・ 経年劣化により活用ができない絵画等の修復、屋外のブロンズ彫刻6点の腐食劣化対策ができていない ・ 収蔵庫が狭隘化している(現状100%超)
	展示	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年に1本の企画展(もしくは特別展) <ul style="list-style-type: none"> 茨城県近代美術館(特・企展5回) 埼玉県立近代美術館(特・企展5回) 神奈川県立近代美術館(特・企展6回) ・ 年に1回の県内での移動美術館 <ul style="list-style-type: none"> 茨城県近代美術館(無) 埼玉県立近代美術館(無) 神奈川県立近代美術館(無) 14,180名 ↓ ・ 年間観覧者26,963人、高齢者率53% (65才以上無料) <ul style="list-style-type: none"> ↑ 館主催の展示室に入った人数(入場者は111,638名、高齢率88%) 茨城県近代美術館(94,028人、70才以上半額) 埼玉県立近代美術館(101,847人、高齢者も同額) 神奈川県立近代美術館(141,150人、65才以上割引) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別展は博物館・美術館全体で年1回、特別展がない場合の企画展は年1回と開催数が少ない ・ 県内の美術館格差是正のための移動美術館の充実 ・ 観覧者数が他県に比べ少ない、高齢者率が高い
支援・教育普及	美術団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間約80の団体展開催、77%の稼働率 <ul style="list-style-type: none"> 茨城県近代美術館(つくば分館貸館特化、2室で47団体) 埼玉県立近代美術館(90団体、個展も可) 神奈川県立近代美術館(無) ・ 県主催の県展会場として活用 <ul style="list-style-type: none"> 茨城県近代美術館(全館で県展開催) 埼玉県立近代美術館(全館で県展開催) 神奈川県立近代美術館(県展無、文化会館で開催) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体展は、実施団体が高齢化かつ固定化し、新規や若い世代の団体が参入しにくい ・ 団体展に利用する展示室の、空き期間の更なる活用
	学校教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校団体の来館利用が5校 <ul style="list-style-type: none"> 茨城県近代美術館(86校) 埼玉県立近代美術館(82校) 神奈川県立近代美術館(6校) ・ 県立幕張総合高校の単位認定授業 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校団体利用が少ない ・ 学校支援体制の拡充
	県民の生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ アトリエ棟は年間60%の稼働率 <ul style="list-style-type: none"> 茨城県近代美術館(講座室を創作活動に使用) 埼玉県立近代美術館(創作室有り) 神奈川県立近代美術館(制作スペース無) ・ 友の会会員265名 <ul style="list-style-type: none"> 茨城県立近代美術館(651人、法人会員52) 埼玉県立近代美術館(517人、企業の協賛制度あり) 神奈川県立近代美術館(なし、サービス部門はPFI) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創作の場(アトリエ棟)の更なる活用 ・ 友の会に法人の加盟がない(制度は有り) ・ 会員の高齢化、会員数の減少
連携	大学等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉大学教育学部と連携したワークショップ実施 ・ 植草学園大学からのボランティア受入れ <ul style="list-style-type: none"> 茨城県近代美術館(茨城大学と単位認定授業で連携、美術館で大学授業、インターシップ) 埼玉県立近代美術館(埼玉大学と単位認定事業、ミュージアムカレッジ) 神奈川県立近代美術館(インターシップのみ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携先の拡充
	県内博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉市美術館、DIC川村記念美術館、佐倉市立美術館、成田山書道美術館と連携し、情報共有のため「千葉近隣美術館連絡会」を年数回開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相乗効果が期待できる安定的な連携事業の実施
	千葉地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉みなと活性化協議会が開催するイベントに年2回参加(5月ポートフェスタ、11月千葉湊大漁まつり) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉港地域での文化的シンボルとしての認知度が低い